

三都研究会・小円座

「近世京都の都市社会の拡大」

三都科研では、三都それぞれの都市拡大と社会構造の複合化、三都を結ぶ諸要素について、調査・研究を進めている。今回は、このうち京都を対象として、都市拡大について考えてみたい。都市拡大については、新地開発に見られる周縁への拡大の実態と社会構造の解明が行われてきた。本例会では、都市拡大を考える一環として、都市社会の拡大を扱う報告を準備した。

渡辺報告は薬種商の京都内での活動の拡大、寺内報告は呉服太物商の京都から他都市への活動の拡大、杉森報告は都市拡大に伴うえた村の移転について、取り上げる。これら三報告を通して、都市社会の拡大という視点から、都市拡大について考えてみることにしたい。

◎日時： 2019年2月24日(日)13:00～17:00

◎会場： 大阪市立大学杉本キャンパス 経済学部棟2階第4会議室

報告1： 渡辺祥子氏（大阪市大・研究補佐）

「京都の薬種流通と薬種屋仲間」

報告2： 寺内由佳氏（お茶の水女子大学大学院博士課程）

「京都商人の宇都宮出店－呉服太物商・奈良屋の事例をもとに－」

報告3： 杉森哲也氏（放送大学）

「六条村の成立と移転」

主催：三都研究会・

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」

共催：近世大坂研究会・都市文化研究センター・都市研究プラザ

※三都研究会は「三都の巨大都市化と社会構造の複合化に関する基盤的究」(科学研究費補助金・基盤研究(B)16H03478)によるものです。